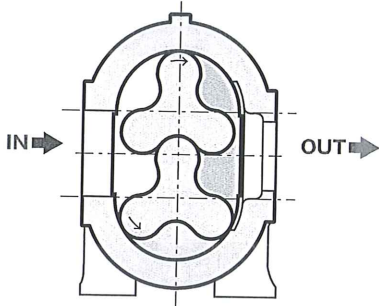


ある日突然ブロワーがロックし、動かなくなったら……???



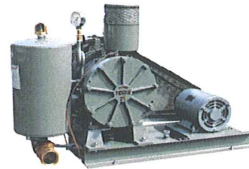
ブロワーの構造

2本の3葉ローターがわずかなクリアランスを保ち、無接触でお互いに反対方向に回転し、一定量の空気の移送を行うもので、摩擦が無くドライでクリーンなエアアが得られる構造です。

通常は、5年に1回のオーバーホールなどが必要です。



ルーツブロワー



ロータリーブロワー



小型ルーツブロワー

緊急措置!

- 1 グリースは、3ヶ月に1回補充
- 2 オイルは、3ヶ月に1回交換
- 3 フィルターは毎月清掃

※ それでも、ブロワーはロックし動かなくなることがあります。

その原因は、長期間の運転でローターに埃などが付着しクリアランスを閉塞し、ロックすることが主因です。

早期のオーバーホールが必要です。

緊急の措置として、潤滑油、5-56(ねじを外す裏ワザ)をローターに噴霧し、ローターを動かします。大概の製品は緊急を解除できます。

水物語No11

日本の冬・白鳥の飛来する瓢湖!

資料参照 : ウィキペディア文献より

JR列車白鳥は2001年3月まで大阪～青森間を走っていた列車で、名前の由来は瓢湖の白鳥にちなんでつけられていました。

瓢湖は、新潟県阿賀野市水原地区にある人造湖です。1639年用水地として完成しました。当時は池の形が瓢箪に似ていたことから、「瓢湖」と呼ばれています。オオハクチョウやコハクチョウの飛来地として知られています。ラムサール条約の登録湿地に登録されています。

瓢湖には、オニビシやハス、ヨシ、マコモなどが生育しています。31科100種の鳥類が確認されており、毎年10月頃から3月頃にかけて6,000羽程のオオハクチョウおよびコハクチョウが飛来し、越冬するほかオナガガモやホシアシロなどのカモ類も数多く飛来します。日中は周辺の田圃で採餌することが多く、カモなどの方が目立つが、夜には湖で羽を休めます。また、フナやヘラブナなどの魚類、オニヤンマやギンヤンマのトンボ類も確認されています。1954年3月に「水原の白鳥渡来地」として国の天然記念物に指定されています。日本で初めて野生の白鳥の餌付けに成功したことで注目を浴びました。



ちょっと早いですが、今年もお世話になりました！もう師走に入りました。1年間、列車の線路を走るように日々の維持管理を正確に進めてまいりました。その間、緊急対応などの検証から多くのことを学ばせていただきました。小さな発見もありました。今後の業務に活用してまいります。不定期で始めたメンテナンスニュースも、どうにか毎月発行でき19号を数えました。何よりも社内の学習資料なので継続が一番です。今後とも委託を頂いた施設の保全のため続けてまいりますので、ご意見よろしくお願いたします。

東京都中央区新川1-16-8 KSEビル 6F
汚泥ゼロ・臭気ゼロ
ハイブリッドシステム推進中！
株式会社クリーンテックサービス